

箱根路東海道への道

箱根旧街道一里塚

江戸より  
二十三里



この先30m



件名 箱根旧街道

指定者 国

指定名称 史跡

指定年月日 昭和十五年九月三日

所在地 箱根町湯本、箱根

江戸幕府は元和四年（一六八八年）十六夜日記でも知られる旧来の湯本から湯坂山、浅間山、鷹ノ巣山、芦ノ湯を経て、元箱根に至る湯坂道（現ハイキングコース）を廢し、湯本の三枚橋から須雲川に沿い、知宿を通り二子山の南側を経て、元箱根に至る古い山路をひろげ、世に箱根の八里越えと伝えられる街道を作った。

この街道は、寛永十二年（一六三五年）参勤交代の制度ができて、層交通が盛んとなり、そのありさまは詩歌、物語等にも多く歌われた。

延宝八年（一六八〇年）幕府の手によりはじめて、この街道に石が敷かれたが、この石敷の道は現在も所所に存し、国の史跡に指定されている。

現在、残っている石畳は、文久三年（一八六三年）三月、孝明天皇の妹、和宮内親王が十四代将軍、徳川家茂のもとに降嫁されるにあたり、幕府が時の代官に命じ、文久二年（一八六二年）に改修工事を完成させたものだといわれている。

平均、約三、六メートルの道幅の中央に約一、八メートル幅に石が敷きつめられていたという。

寄木細工の茶屋

寄木細工実演

箱根寄木細工







石室  
石室の規模は、東西約10メートル、南北約5メートル、高さ約3メートルである。石室の内部には、土葬された遺体が発見された。石室の周囲には、石製の石室の基礎が確認された。石室の内部には、土葬された遺体が発見された。石室の周囲には、石製の石室の基礎が確認された。

石室  
石室の規模は、東西約10メートル、南北約5メートル、高さ約3メートルである。石室の内部には、土葬された遺体が発見された。石室の周囲には、石製の石室の基礎が確認された。石室の内部には、土葬された遺体が発見された。石室の周囲には、石製の石室の基礎が確認された。

石室  
石室の規模は、東西約10メートル、南北約5メートル、高さ約3メートルである。石室の内部には、土葬された遺体が発見された。石室の周囲には、石製の石室の基礎が確認された。石室の内部には、土葬された遺体が発見された。石室の周囲には、石製の石室の基礎が確認された。

## 箱根旧街道・畑宿一里塚

江戸時代、徳川幕府は旅人の目印として、街道の一里(約4km)ごとに「一里塚」をつくりました。石畳の両側に残る畑宿の一里塚は、江戸日本橋から二十三里目に当たり、東海道中唯一その形態を留めるものです。

山の斜面にあるこの塚は、周囲を切土・盛土と石貼で平坦面をつくり、直径が三十尺(9m)の円形に石積を築き、礫を積み上げ、表層に土を盛って頂上に植樹したものであることが発掘調査から分かりました。

保存整備では、塚の構造を復元し、標識樹として畑宿から見て右側の塚には樅を、左側には櫻を植えました。

箱根町教育委員会











石畳特別保存地区

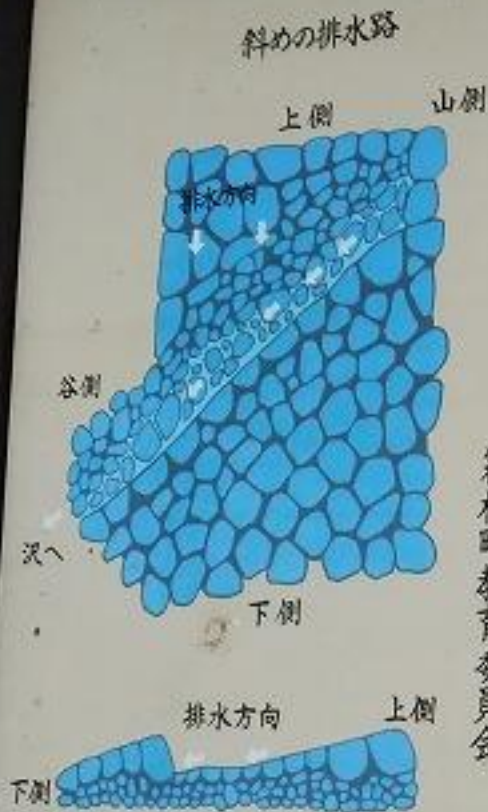
## 斜めの排水路

ここには、石畳の上を流れてきた雨水を、石畳の外へ追い出すための、斜めの排水路があります。

排水路は、上流側に小さな石、下流側に大きな石を斜めに敷き、段差を造り出すといつかたちをしています。水は、この大きな石の側面を伝わり、並木敷土手の外にある沢へと流れ出るようになっていきます。

平成二年十一月

箱根町教育委員会



国指定  
史跡

箱根  
旧街





畑宿 1.5KM  
Hatajyuku

箱根

旧街道

元晴橋

箱根



箱根旧街道

(新設歩道)

甘酒茶屋 一、三〇〇米

元箱根 三、〇〇〇米

神奈川県

# 雲助とよばれた人たち

箱根の雲助というところない人はいません。ところが雲助とよばれた人たちは、実は、この小田原の間屋場や御入道たちだ。たのびです。しかし、雲助というとなにか悪者のように考えますが、それは一部の人で、間屋場では、人足を記録させ仕事を創出していました。ので、おもしろい人などはいなかったといえます。

日本文学史論という資料によると、雲助になるのは次の三つにパスしなければならなかったそうです。その内容を見ると、なかなかむずかしく読んでも、すぐなれるという難関ではなかったようです。

一、力がひとまうに強いこと。これは仕事の性質上せむい雲助。

二、箱根の歴史がすくれていること。箱根物を見ると、たかがつづいたものかわかり、また箱根で一度箱根りした箱物は、京都まで来るとこれなむたさうです。

三、歌をうたうのが、じょうずでない。二流の雲助とよばれなかつたそうです。こういふ人足のほかに、馬をかく「馬子」かこをつく「かこま」いたらの雲助が、北箱根や海本など箱根の各地に住み、鎌倉や足利をたすけをしていました。

環 境 庁 ・ 神 奈 川 県

# 須雲川

## 自然探勝歩道について

この歩道は、須雲川沿いに畑宿より元箱根に至る旧東海道（江戸時代、三百有余年前に沿った歴史的な、たたずまいをもつ自然歩道です。

途中には旧街道そのままの石畳が残され当時の面影をしのばせております。

元箱根までは、甘酒茶屋を経て杉並木に至る約三キロメートルの道のりとなっております。

神奈川県 梹

旧街道 山根橋

元箱根まで三〇KM

旧街道

山根橋

元箱根まで  
三・〇km







旧街道

甘酒橋

元禄十一年  
二月



旧街道

甘酒橋

和 宮まで 一八分





## 石畳歩道について

この石畳は旧東海道(江戸時代西暦一六八〇年)の歴史的な街道に沿った歩道です。

旧東海道は、関東大震災(西暦一九二三年)及び北伊豆地震(西暦一九三〇年)等たびかさなる災害により大半が崩壊、埋没しましたが、残された一部の石畳を再現し、自然歩道として神奈川県が整備したものです。

神奈川 県



十二 親鸞上人と夏ノ平

東国の教化を終えたる箱根、四  
人の弟子と上人が険しい箱根路を  
登つてこの地に来たとき、上人は  
弟子の性信房と蓮燈房に向かい  
「師弟打ちつれて上落した後は  
たれが東国の門徒を導くのか心配  
であるから、御房がこれから立ち  
戻つて教化してもらいたい」と頼  
み、師弟の悲しい別れをした場所  
と伝えられています。

箱  
根  
町





箱根旧街道休憩所

REST ROOM







## 甘酒茶屋について

この甘酒茶屋の付近は江戸時代、赤穂浪士の一人、神崎与五郎が吉良邸討入りに向う途中ここで与五郎にいがかりをつけられ大勢の前であつたため、与五郎に詫証文を言いたと忠臣蔵「甘酒茶屋」のくたりとして挿入、戯曲で有名なところである。

しかし、この話は残っている証文から神崎与五郎でなく同じ浪士の一人、大高源吾でその場所は三島宿だつたといわれています。又、当時の諸大名は小田原城下入りをする際、この付近でひと休みし、小田原に下りました。


江戸時代にはこの付近に茶屋があり急坂な箱根路への休憩地として賑わっていました。

神奈川県

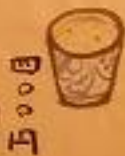






くろごま  
もち  
（細かく挽き）  


甘酒



丸米が自然の  
味で砂糖など添加物は  
一切入らずおろし生けん

力餅



うぐいす

850円

みそおでん

850円

自家製みそ



天草使用  
つよ出し

とろろあん

850円



しそジュース

800円



冷たい  
抹茶ジュース

800円



至 自平成二十二年五月二十日  
年 月 日

箱根甘酒茶屋

徒步觀光記念  
御芳名帳





本館 甘酒亭  
本館の歴史を伝える  
この本館は、昭和初期に  
建てられたもので、地  
元の民衆が、この  
本館を建てたのは、  
昭和八年（一九三三）  
であり、甘酒亭の歴史は  
さかのぼる。

箱根町

甘酒亭

甘酒

箱根旧街道

元箱根まで四十分

神奈川県





お玉ヶ池

福根町 福根神社  
1972年10月14日

お玉ヶ池  
お玉ヶ池は、福根神社の境内にあり、  
その由来は、お玉姫様が、  
この池に身を投げたことによる。  
お玉姫様は、天照大神の御孫で、  
天孫降臨の際、この地に降りた。  
お玉姫様は、この池で沐浴し、  
その後、福根神社に参詣された。  
お玉姫様が、この池に身を投げたのは、  
天孫降臨の際、この地に降りたときのことである。  
お玉姫様が、この池に身を投げたのは、  
天孫降臨の際、この地に降りたときのことである。  
お玉姫様が、この池に身を投げたのは、  
天孫降臨の際、この地に降りたときのことである。

福根町

# 十五、お玉ヶ池

元禄十五年（一七〇二）閏四月うらづ二十七日

日、伊豆大瀬村太郎兵衛の娘、お玉は関所破りの罪で処刑されました。お玉は奉公先の江戸新田嶋から国元に帰る途中、手形がないので箱根関所を通ることができず裏山を通り抜けようとしたのです。

処刑は、お玉が本道をそれて裏山である屏風山に踏み入った坂道の所で行われ

お玉の首を齧かみヶ池で洗ったといわれています。このためいつのころからかこの池がお玉ヶ池、坂がお玉坂と呼ばれるようになったようになりました。

箱根旧街道

箱根旧街道  
大平山



# 杉並木について

この杉並木は江戸時代、徳川幕府が整備のため植えたもので樹令約、三百七十年くらいたつています。

この杉並木の間が旧東海道で江戸時代の人々は、この道を通って箱根山を越えました。

湯本から畑宿〜元箱根〜箱根町〜箱根峠〜三島に続いた旧東海道沿で今なお生育しているのは、この付近の元箱根地区と箱根町に一部残されているだけです。

















元箱根港  
Motomachi Port

元箱根駅前  
Motomachi Station



元箱根港

箱根観光センター

元箱根港

箱根観光センター

Motomachi Port

Boxing Center

Motomachi Port



SEVEN & HOLDINGS

たばこ 酒

銀行 ATM



















塚田 稲穂大正は、豊前守  
池田天祥 豊前守島居 伏  
の海軍によつて明治三十四年  
につくられ、十年後唱歌に  
採用されて以来、平成十二年  
で歌集百年と記された。  
この稲穂大正の歌碑は、  
豊大しと多くの人々によつてこ  
れ、精神としてのひそかに世にこ  
伝えられたのに、昭和四十二年  
に建立されたものです。

稲穂町

萬葉集の巻目 天下の  
 名所 物産 千何の太  
 白雲の谷をめぐり  
 杉の並木  
 一夫一婦の情  
 天下の名山 天下の  
 名産 足利の  
 八日町 徳島の  
 徳島の武士





# 箱根関所周辺散策図

HAKONE SEKISHO CHECKPOINT WALKING MAP

箱根関所周辺散策図  
 箱根関所周辺散策図  
 箱根関所周辺散策図



**箱根関所と江戸時代の町割り**

江戸時代、箱根関所は東海道五三次宿場の中継点として重要な役割を果たしました。関所は、参勤交代の要所であり、旅人の安全を確保するための施設として整備されました。この地図は、関所の位置と周辺の町割りを示しています。

**おすすめの散策コース**

- ① 30分コース
- ② 45分コース
- ③ 60分コース

**観光インフォメーション**

箱根観光案内所  
 〒250-0292 箱根町 1-1-1  
 TEL: 046-252-1111

- 観光案内所
- 観光バス
- 観光タクシー
- 観光船
- 観光バス
- 観光タクシー
- 観光船
- 観光バス
- 観光タクシー
- 観光船

**箱根関所・箱根関所資料館**

箱根関所は、江戸時代を通じて重要な交通の要所であり、参勤交代の要所として知られています。資料館では、関所の歴史や当時の生活様式について詳しく解説されています。

**箱根美術館**

箱根美術館は、箱根の歴史や文化をテーマにした作品を展示しています。また、季節ごとの特別展も開催されています。

**箱根町立博物館**

箱根町立博物館は、箱根の歴史や文化をテーマにした作品を展示しています。また、季節ごとの特別展も開催されています。

**関所神社**

関所神社は、箱根関所の守護神として知られています。毎年、関所祭りが開催され、多くの参拝客が訪れます。

**関所神社**

関所神社は、箱根関所の守護神として知られています。毎年、関所祭りが開催され、多くの参拝客が訪れます。

**関所神社**

関所神社は、箱根関所の守護神として知られています。毎年、関所祭りが開催され、多くの参拝客が訪れます。

**関所神社**

関所神社は、箱根関所の守護神として知られています。毎年、関所祭りが開催され、多くの参拝客が訪れます。

# 箱根関所

(国指定史跡 箱根関跡)

箱根関所が、江戸幕府によって、山と湖に挟まれた交通の要衝であるこの地に設置されたのは、元和5年(1619)のことと考えられています。箱根関所は、江戸幕府が江戸参府のために、全国に設置した33ヶ所の関所のうち、東海道の新彦(静岡県)、中山道の種木(群馬県)、水首福桑(長野県)と並んで規模も大きく、特に重要な関所と考えられていたようです。

この関所の配置は、箱根山中の東海道の中で、屏風山と芦ノ湖に挟まれた要害の地形を利用して、山の中腹から湖の中まで建て敷敷に区画し、江戸口・宮口両陣門を構え、大番所と足軽番所が向き合うものとなっています。

一般的に関所では、「入り鉄砲に出女」を取り調べたと言われていますが、この箱根関所では、江戸方面からの「出女」に対する厳しい取調べを行っていません。

江戸時代を通じて機能を果たしてきた関所ですが、設置から250年後の明治2年(1869)、新政府により関所制度が廃止され、その役割を終えました。

箱根関所の跡地は、大正11年(1922)、「箱根関跡」として国の史跡に指定されました。昭和48年(1975)には番所の建物が建設され、その後、昭和58年(1983)、立川文庫(静岡県伊豆の国市)から、慶応元年(1865)に完成した箱根関所の大規模修繕についての天明な資料『箱川箱根関所御修繕出来次第』が発見され、資料の解読や跡地の発掘調査を経て、平成19年(2007)春、国土交通省、文化庁、神奈川県との協力を受けて復元整備を終え、箱根の関所は比喩の姿によみがえりました。平成19年(2007)箱根町教育委員会

## Hakone Checkpoint / 箱根関所 / 하코네 세카소(관문)

It is a facility which was placed by Tokugawa shogunate in 1619, for the purpose of maintaining the order of the government. The site was designated as a National Historic Site in 1922, and the buildings were restored to those original states in 2007.









Handwritten calligraphy on a wooden sign, likely a dedication or historical record. The text is arranged in vertical columns, starting from the right and reading leftwards. The characters are small and densely packed.

















外禁





